

年に1回肺がん検診

毎年継続して受診しましょう

部位別のがん死亡者数

2024年

順位	男(死亡者数)	女(死亡者数)
1	肺 (52,333)	大腸 (25,590)
2	大腸 (28,826)	肺 (23,236)
3	胃 (24,720)	膵臓 (20,864)

検診

異常なし

検診



胸部エックス線検査*



CT検査

検診

要精密検査

精密検査

*喀痰が続くなどの自覚症状がある場合は
医療機関を早期に受診してください



気管支鏡検査

要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受けてください

肺がん検診について

肺がんは死亡率の高いがんですが、検診により死亡率を下げる効果があります。
ただし、がんを見つけられない場合や、がんでなくても「異常あり」となることがあります。

検診のリスク

わずかな放射線被ばくがあります。また、必要のない精密検査につながる場合があります。

肺がんの原因と予防

喫煙や受動喫煙は肺がんの大きな原因です。たばこを吸わないこと、禁煙することが予防につながります。

肺がん検診対象者

40歳以上の方は1年に1回受診されることをお勧めしています

検診方法

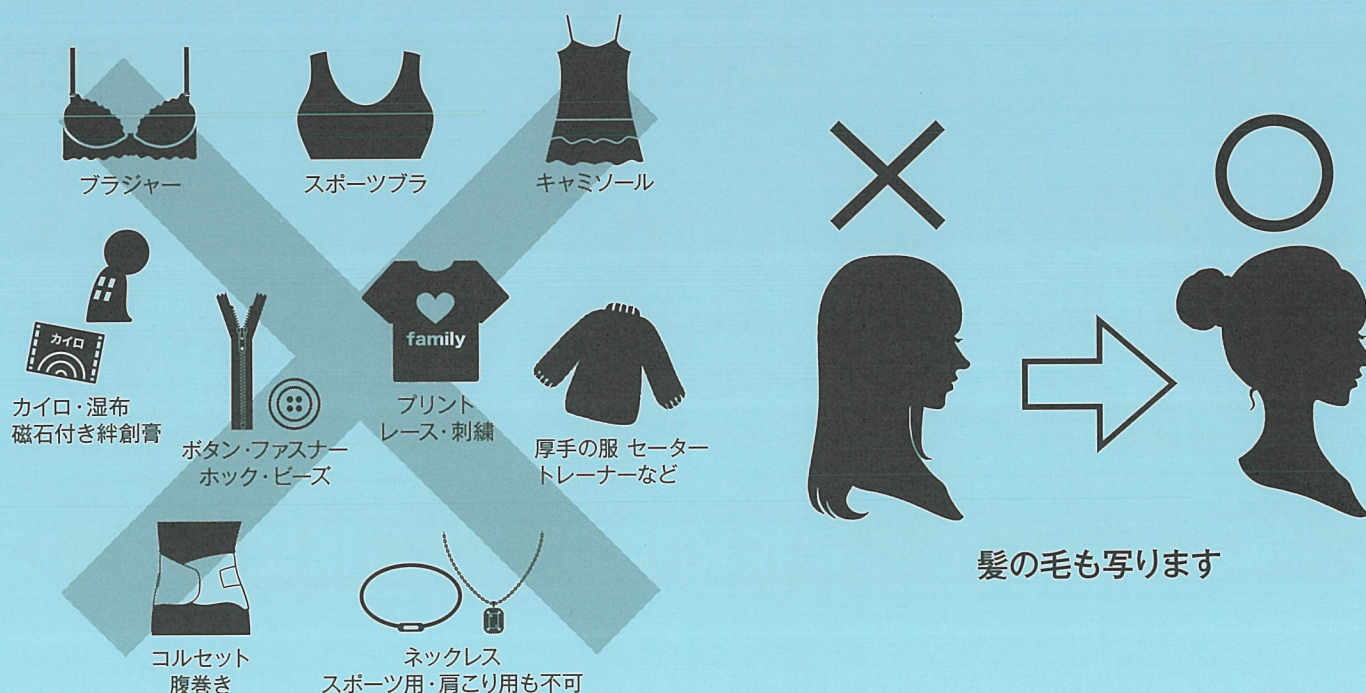
- ① 質問（喫煙歴、喀痰・血痰の有無、妊娠の可能性の有無、過去の検診受診状況等）
- ② 胸部エックス線検査

受診時の注意点 1（以下に該当する方は受診できません）

- ① 妊娠または妊娠の可能性がある方
- ② 持続血糖モニター、インスリンポンプを装着している方で、取り外しができない場合
- ③ バリウムによる胃がん検診を受診した日から1週間以内の方

受診時の注意点 2（撮影時の更衣について）

無地で装飾のないTシャツ1枚をご用意ください



要精密検査となった場合

- ① 精密検査の方法は、胸部CT検査（エックス線を使って病変が疑われた部位の断面図を撮影し、詳しく調べます）や気管支鏡検査（気管支鏡を口や鼻から気管支に挿入して病変が疑われた部分を直接観察します。必要に応じて組織を採取し悪性かどうかを診断します）が行われます。
- ② 精密検査の結果は市町村等へ報告され、検診機関もその結果を共有します。
- ③ 長野県のホームページから精密実施医療機関をお選びください。
医療機関がおわかりにならない場合は検診担当者におたずねください。

